資料4

令和元年度
運営委員会開催状況、
広報活動、関係機関と連携した
活動等の報告

令和2年2月4日（火）
WXBC事務局（気象庁）

気象ビジネス推進コンソーシアム

運営委員会開催状況、広報活動等報告

1．運営委員会開催状況

2．広報活動

3．関係機関等と連携した活動

4．気象データアナリスト（仮称）の育成・確保に向けて

5．「産業界における気象データの利活用状況に関する調査」の概要

6．「WXBCの活動及び気象データの利活用の課題に関する調査」の概要

１．運営委員会開催状況

○運営委員会は、おおむね３～４ヶ月に１回程度をメドに開催。

●第12回：令和元年６月19日

・第４回WXBC総会、気象ビジネスフォーラムについて
・関係機関と連携したイベントについて
・WG等の活動状況
・気象過去データの利用環境について
・気象データアナリスト（仮称）の育成・確保に向けて

●第13回：令和元年10月23日

・第４回WXBC総会、気象ビジネスフォーラムについて
・関係機関と連携したイベントについて
・WG等の活動状況
・気象過去データの利用環境について
・産業界における気象データの利活用状況に関する調査
・えひめAI・IoT推進コンソーシアムの取組
・気象データアナリスト（仮称）の育成・確保に向けて

●第14回：令和２年１月22日

・「産業界における気象データの利活用状況に関する調査」及び「WXBCの活動及び気象データの利活用の課題に関する調査」概要
・令和２年度のWXBCの運営体制・活動内容
・気象データアナリスト（仮称）の育成・確保に向けて

2．広報関係

○広報担当の ヤフー（株）田中 真司 運営委員からアドバイスをいただきつつ広報の取り組みを実施中。

ホームページ	進捗
トップページ改修	活動の実態や利便性を向上させる改修を実施
セミナー等の各種資料を掲載	イベントに参加出来ない方も情報を得られるよう、各種資料を掲載中
WG紹介ページ	WGへの入会を検討している方のため、WG紹介ページを作成
会員紹介ページ	会員企業の情報をHPから得られるよう作成、内容拡充中
Web版ビジネス事例集	事例ごとに検索できるよう、既存の事例集をWebページ化を実施
会員向けRead Onlyアカウント	企業・団体の担当以外の方もWXBC会員向けの情報を得られるよう、今年度新たに開始

Twitter	進捗
気象ビジネス事例の紹介等	気象ビジネスを広めるため実施中。フォロワー数は、増加中（約1400）

YouTube	進捗
順次動画を掲載	E-Learningや第３回気象ビジネスフォーラム等の動画を掲載

ニュースレター	進捗
No.80まで発行（1月24日現在）	気象ビジネスの強化・創出の参考となるよう、新たな気象データや関係省庁の補助金等を紹介

３．関係機関と連携した活動

○他機関の主催するイベントと連携し、会員が活動できる場を用意。
○会員自らもイベントを企画・開催し、普及啓発や人材育成に貢献。

●第５回猛暑対策展（2019年7月24日）
・気象データを活用し、夏に焦点を当てたビジネスへの関心を高めるため、WXBC事務局（気象庁）より紫外線等の気象庁の情報の紹介、会員企業のJMDC様より「Health Weather」での熱中症対策サービス等について紹介

●Weather Driven Marketing Summit（2019年9月２日）
・「Weather × Techで実現する新たな可能性」をテーマに、来場者へ気象データの活用について理解をしてもらい、自社のサービスや事業への活用するきっかけを創出し、新たなビジネスにつなげる。会員企業のルグラン様が主催、WXBCは後援。

●危機管理産業展（RISCON TOKYO）2019　特別併催企画「気象ビジネスサミット」（2019年10月２～４日）
・危機管理産業展2019（10月２～４日、於：東京ビッグサイト）において、気象モニタリングや気象情報を利活用する「気象ビジネス」に着目した特別併催企画として「気象ビジネスサミット」を開催。WXBCは企画協力。

●公共交通オープンデータ協議会　第４回東京公共交通オープンデータチャレンジ（2019年11月～2020年10月）
・第4回の東京公共交通オープンデータチャレンジでは、多様な来訪者が訪れる2020年の東京におけるスムーズな移動と快適な滞在を実現するアプリケーションを、広く募集。WXBCはオープンデータパートナー

●気候変動・災害対策Biz（2019年12月４～６日）
・気候変動を抑制するための環境・再生エネルギー技術や、災害に対するレジリエンス（復元力・回復力）を高める防災・減災ソリューションを紹介することにより、関連ビジネスの発展を促すとともに、企業や公的部門における環境意識や防災意識の向上を目指す。WXBCは後援。

●「 2019TRON Symposium -TRON SHOW- 」（2019年12月11～13日）
・産学協同により新しい理想的なコンピュータ体系を構築するプロジェクト「トロンプロジェクト」、「ユビキタスIDプロジェクト」、「T-Engineプロジェクト」、「オープンデータプロジェクト」及び「IoT-Engineプロジェクト」を推進しており、その進捗状況、研究開発の成果等を紹介する。WXBCは協賛。

●岐阜大学 「 Python気象データ分析体験セミナー」（2019年12月２３日）
・WXBC人材育成WGが企画する「気象データ分析チャレンジ！（アメダスCSV編）」の内容を、プログラミング言語Pythonを用いて学習する体験型セミナーとなっている。気象庁が提供する過去気象データについて紹介するとともに、Pythonによる気象データ分析の基礎について学習し、機械学習により気象データによる電力消費量の予測について体験する。WXBCは共催。

４．気象データアナリスト（仮称）の育成・確保に向けて

(目的)
○気象データを使ってビジネス課題を分析し、業務の改善提案ができる人材が求められている。
○データ分析のプロを育成する民間講習を活用し、気象データも扱うことができるデータ分析のための人材育成ができる環境を構築する。

アナリスト育成のイメージ図

難 民間講習のレベル 易

「アナリスト養成講習」（有料民間講習）
WXBC法人会員企業が実施する
データ分析に主眼を置く講習

講習で履修すべき、データリテラシー、課題解決スキル等の内容については、コアメンバーを中心に精査する。

（履修項目の例）
・画像処理
・プログラミング
・統計学・機械学習
・データ収集
・データ分析
・データベース　等

民間では、多様なニーズに対応するため、様々なレベルの講習を提供中

A社　B社　…　Z社

知識の運用
知識の獲得

・自立して事業を実施できるレベル

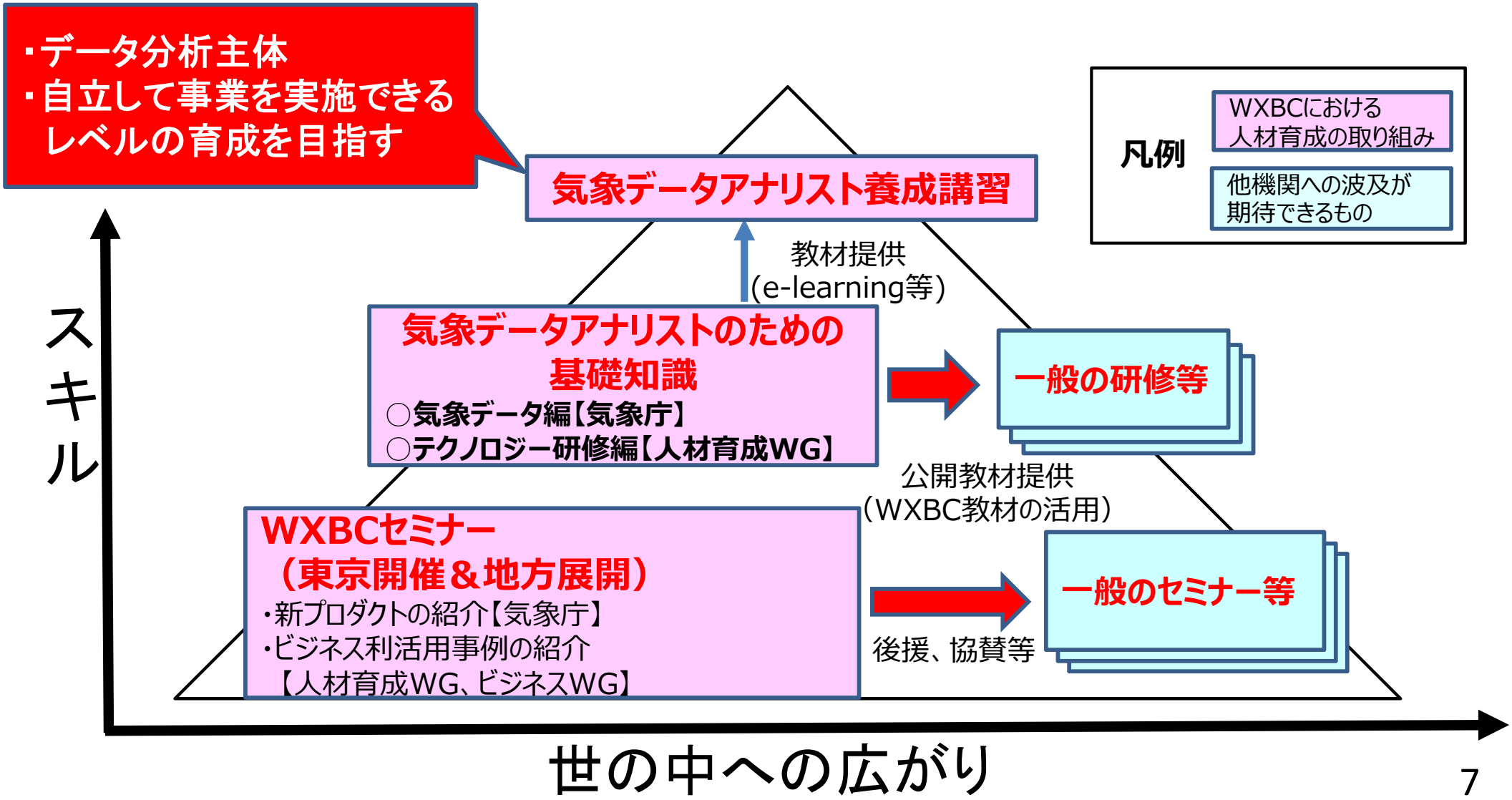
講習のレベル等について検討する

気象データアナリストのための基礎知識（無料e-learning）

【気象データ編】
気象データに関する共通教材（気象庁主体で検討）
【テクノロジー研修編】
気象データを活用したデータ分析等に関する共通教材（人材育成WG主体で検討）

４．気象データアナリスト（仮称）の育成・確保に向けて

(今後の予定)
○R2年度：　民間企業によるパイロット講習を開始し、技術的要件を精査し、本格運用に向けた課題を整理
○R3年度以降：　民間講習の本格的運用を開始



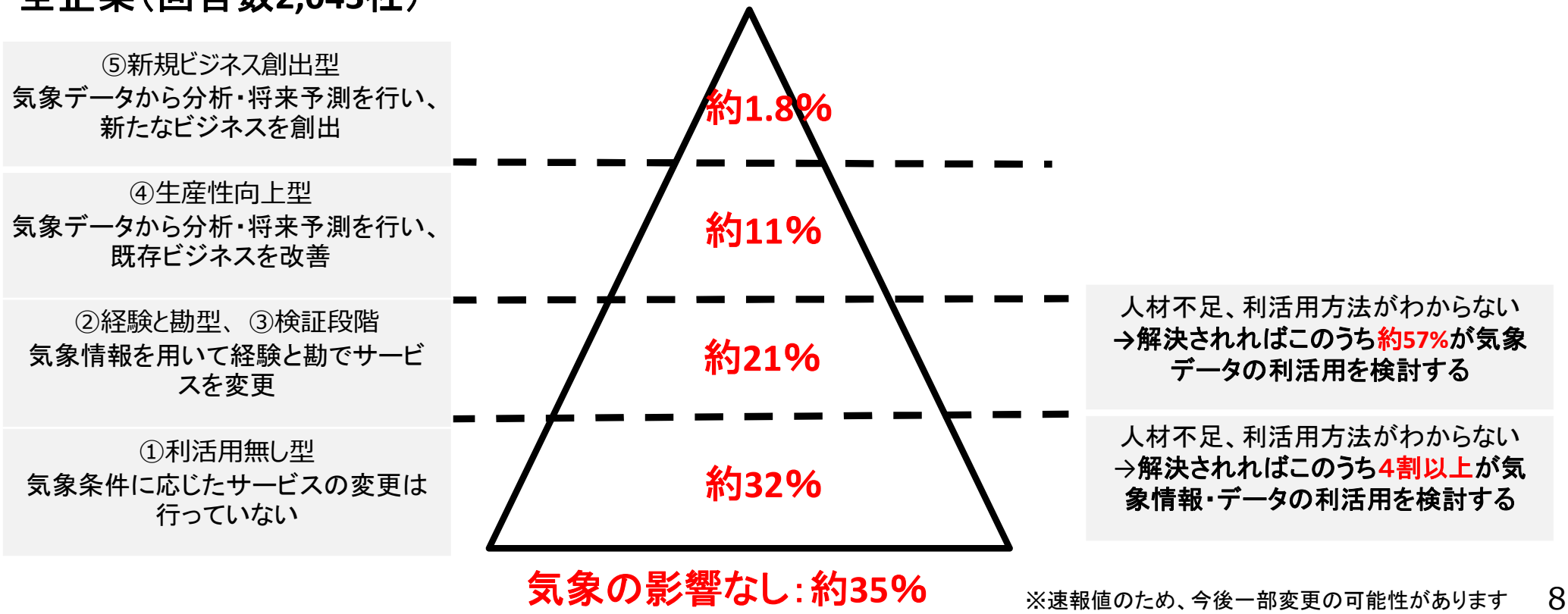
5．「産業界における気象データの利活用状況に関する調査」概要

・産業界における気象データの利活用状況を調査するため、全業種を対象に10,000社に実施。
・回答数は現時点で2,043社。さらに分析を進め、報告書を一般公開予定。

①企業における気象データの利活用の段階

- **生産性向上に利活用できている企業は1割強**
- まだこれに至っていない企業でも**その半数程度で、人材不足などの課題が解決されると利活用するとの意向（伸びしろがある）**

全企業（回答数2,043社）

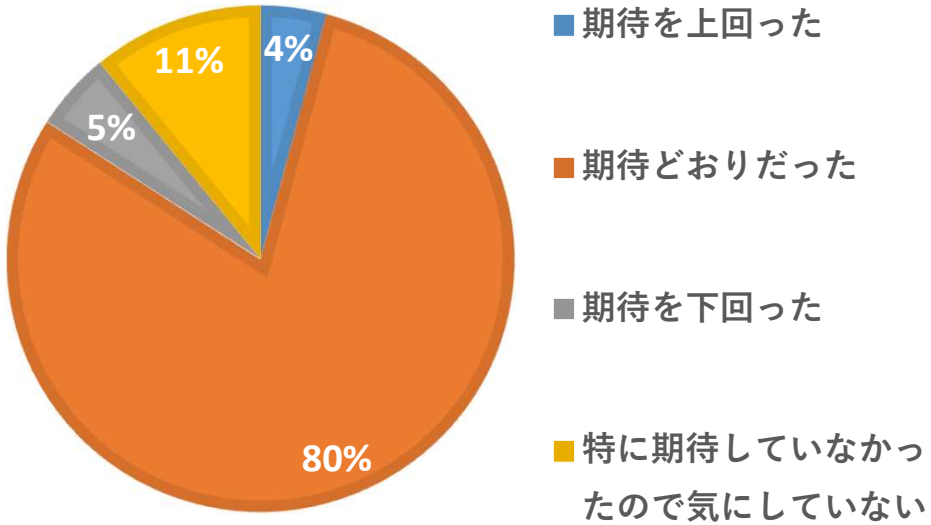


※速報値のため、今後一部変更の可能性があります

②気象情報・データを使った効果

- **約8割以上の企業が期待どおりまたは期待以上の効果**があったと回答
- WXBC会員企業は、新たなサービス創出や売上向上等、**プラスを増やす効果を実感**

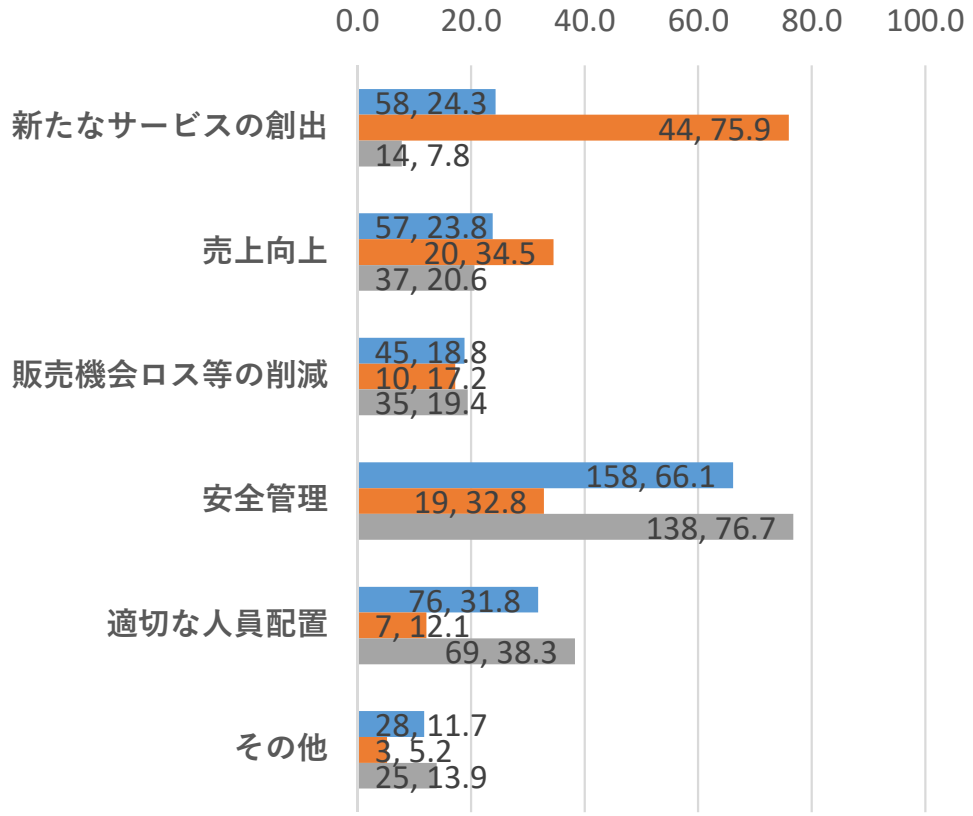
気象データの利活用による効果



※会員、非会員ともほぼ同程度

実際に実感している効果

青：全体、オレンジ：会員、灰色：非会員
全体239社より422件、会員58社より103件、非会員184社より348件
グラフのラベルは回答件数と％（選択した会社数の割合）

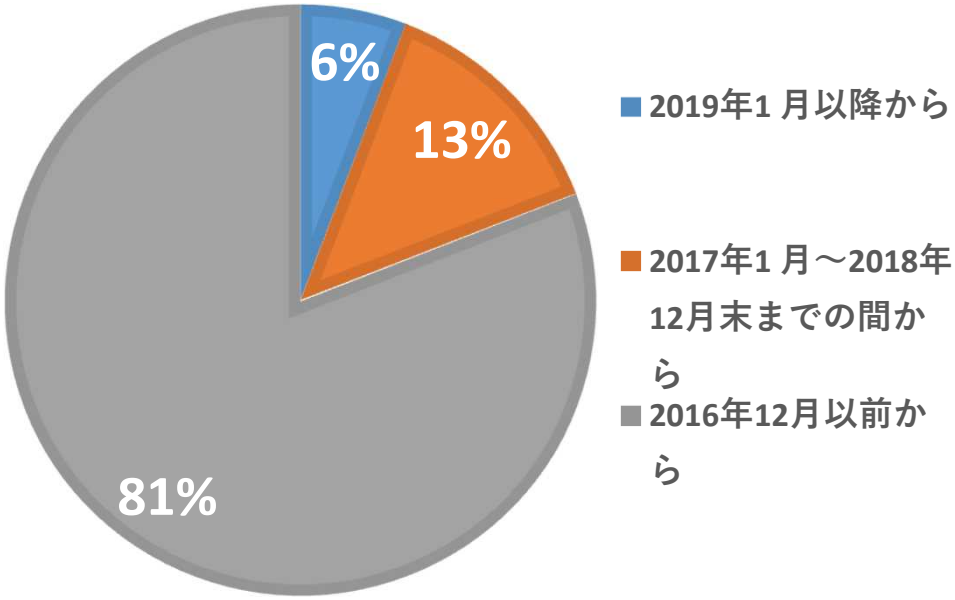


※速報値のため、今後一部変更の可能性があります

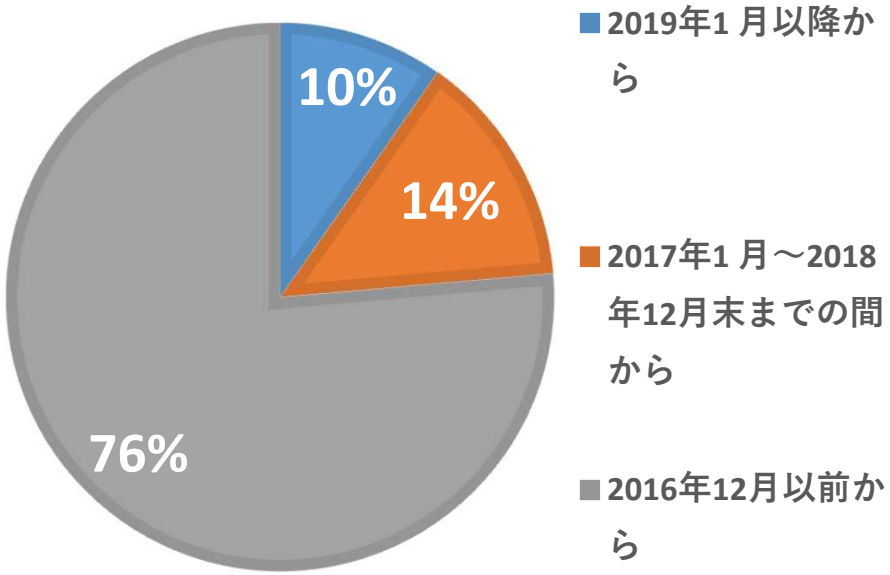
③気象情報・データを使い始めた時期

- 2017年1月以降、気象情報・データを使い始めた企業は、**全体の約20%**
- WXBC会員企業では**約25%**
- WXBC設立（2017年3月）以降の**３年間での伸びが大きく、WXBCの取組みの効果か！**

全企業（466社）



WXBC会員（72社）



※気象情報・データにより商品・サービスを変更している企業のうち、気象情報・データを使い始めた時期が判明している企業を抽出

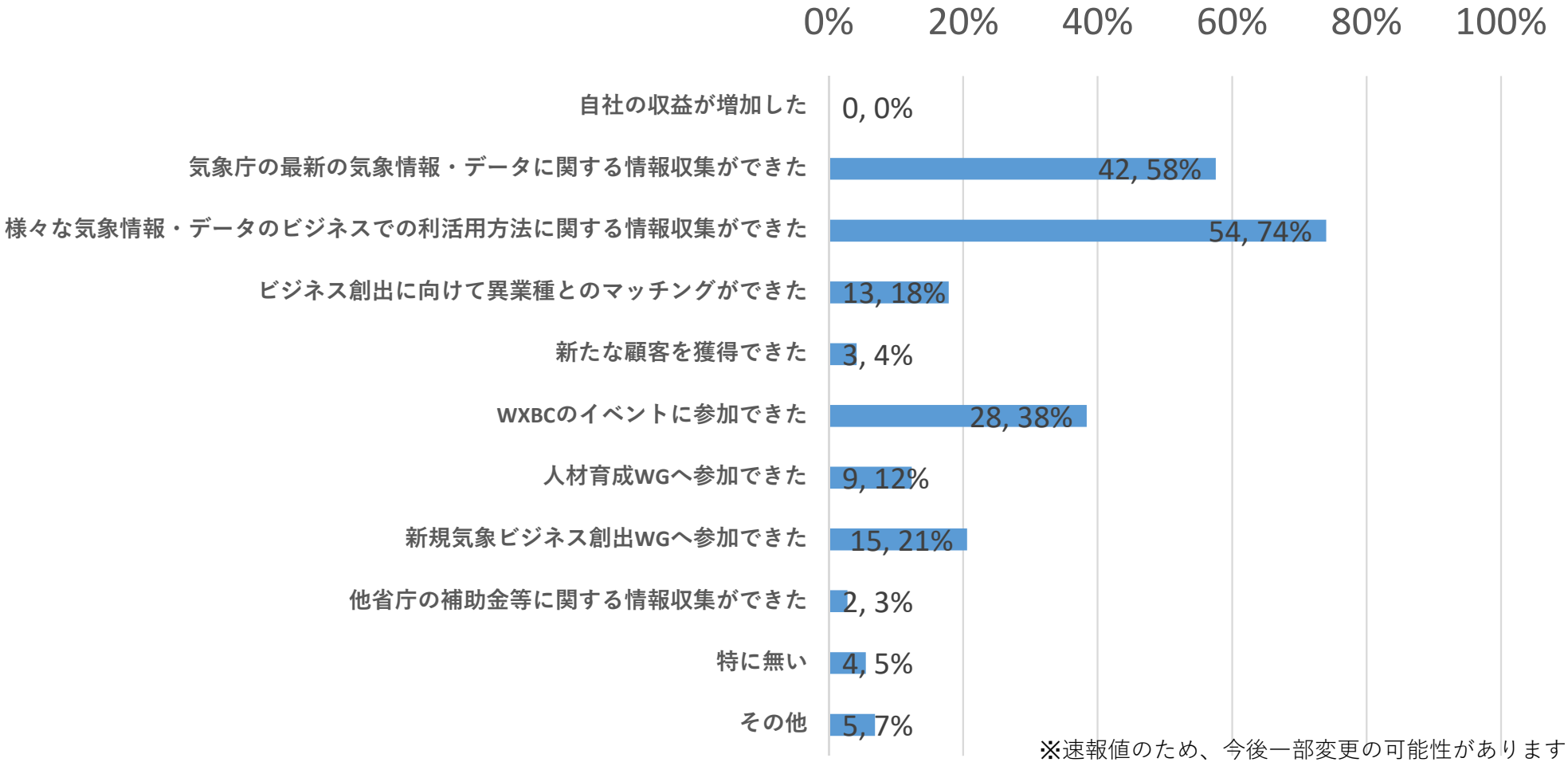
※速報値のため、今後一部変更の可能性があります

6．「 WXBCの活動及び気象データの利活用の課題に関する調査」概要

・WXBCでの活動の効果と、今後の活動の要望について、 WXBC会員を対象に実施。
・回答数は現時点73者。さらに収集・分析を進め、報告書をWXBCホームページに公開予定。

①WXBCに入会してよかったこと

➢ 気象庁の最新の気象情報・データに関する情報収集ができた、様々な気象情報・データの利活用に関する情報収集ができた、の回答が多数



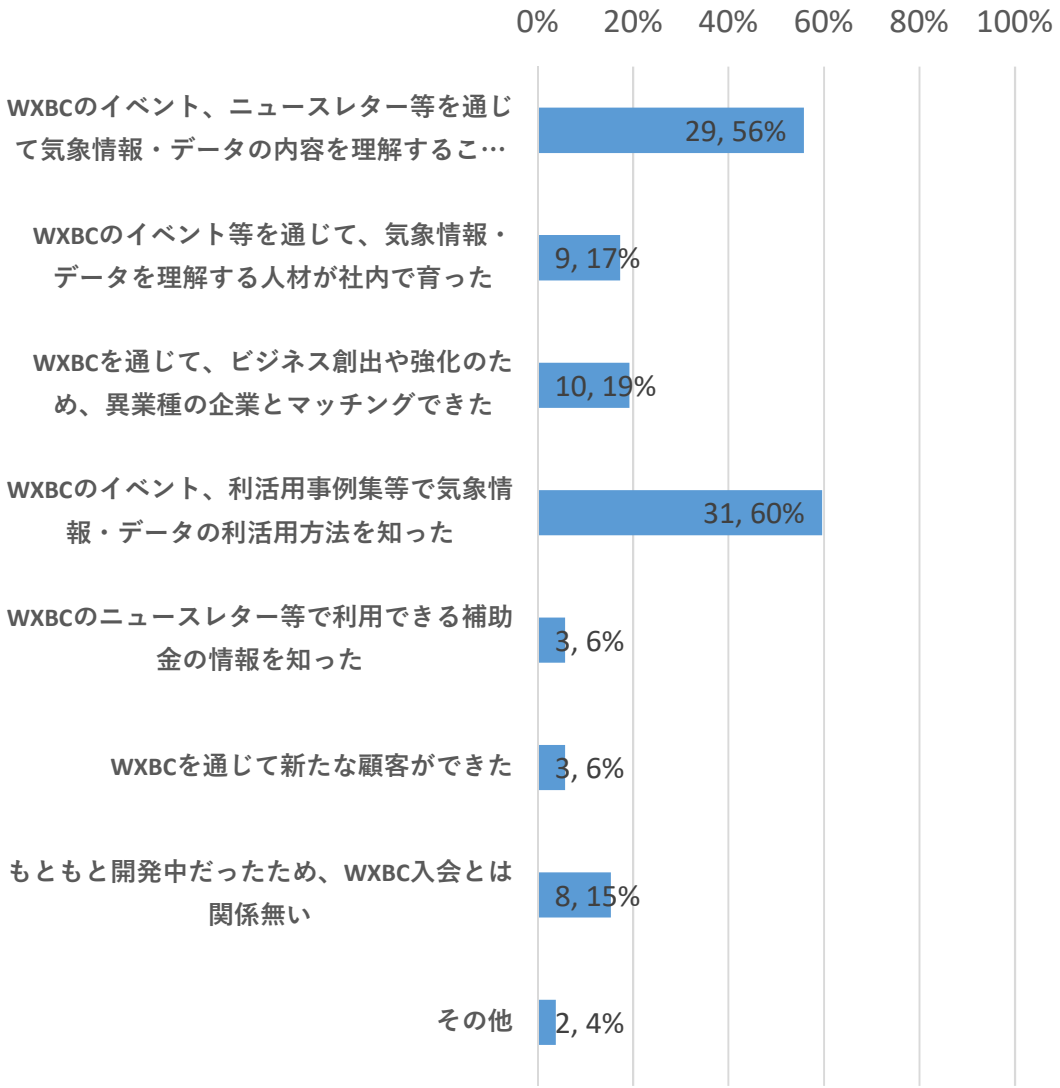
※速報値のため、今後一部変更の可能性があります

6．「WXBCの活動及び気象データの利活用の課題に関する調査」概要

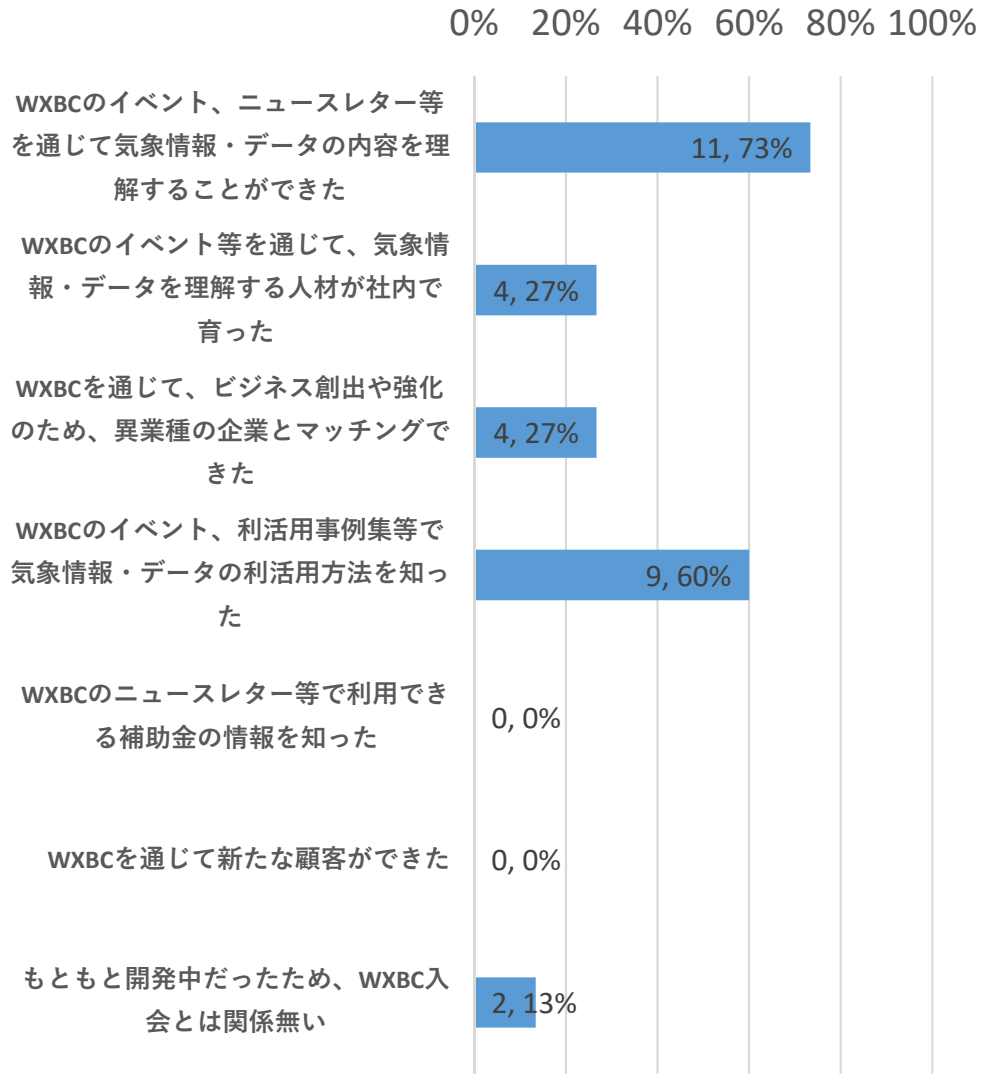
②WXBCに入会による効果

➢ 気象情報・データの紹介や利活用方法に関する情報が役立っている。

シーズ側（回答54者）



ニーズ側（回答17者）



※速報値のため、今後一部変更の可能性があります